

事業報告書

団 体 名 仁淀川 神楽と鮎と酒に酔う
実行委員会

1 事業名

仁淀川 神楽と鮎と酒に酔う

2 事業の成果

令和6年10月5日に、今年は土佐の豊穰祭の仁淀川会場のイベントとして、開催することができた。また、ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 仁淀ブルーを同時開催することで、特に県外からのお客様が午前中から仁淀川を楽しんでいただき、そのままイベント会場まで来ていただくことができた。このイベントもスタートの時間の集客に苦勞していたが、今年は、イベントスタート前から商品を購入するお客様がいらっしゃり、客席も早々に座っていただくことができた。

イベントスタートとなる14時から、地元の小学校、中学校、高校の和太鼓部による和太鼓演奏が行われた。その後はよさこいグループによる演舞が行われ、会場のお客様にも参加していただき、一緒になって踊り、大いに盛り上がった。県外からのお客様も多く、地元の文化やよさこいに触れてもらい、素晴らしい雰囲気イベントをスタートすることができた。

その後、オープニングセレモニーとして、仁淀川流域の首長や関係者に登壇していただき、仁淀川流域にある四蔵の酒造会社（司牡丹、亀泉酒造、高知酒造、酔鯨酒造）提供による、鏡割りも行った。その後、ふるまい酒として、会場の方にふるまったが、各首長などからもふるまっていただき、アットホームな雰囲気を作ることができ、お客様の行列ができるほど、人気となった。この時間には、会場の席も8割ほど埋り、例年になくお客様に来ていただき、お店も行列ができるお店などが出て、活気のある状態となっております。

今年から「お酒を呑んで酒んじゃお！子供の部」を開催しまして、ジュースを飲んでもらって子供たちに大きな声で一言叫んでもらうイベントだったが、大人とは異なり、思いもしない子供たちからの言葉に、会場は大いに盛り上がった。

17時ごろより、本来は清流太鼓一番風による演奏であったが、雨が降りだした為、残念ながら、太鼓の演奏は中止となった。その後、少し弱まった段階で、よさこいグループ「いの夏」による演舞を行った。途中結構な本降りとなったが、楽しんで踊ってもらい、会場に残っておったお客様も一緒になって楽しんでもらうことができた。

「お酒を呑んで酒んじゃお！大人の部」も多少雨が降ってはあったが、実施して大人ならではのユーモアあふれるコメントや県外の方からの面白いコメントで会場が一体となって盛り上がった。

時間を早めて池川神楽も実施を検討したが、雨が本格的に降ってきたため、急遽中止となった。だが、少しではあるが会場内にお客様も残っておったため、19時までイベントは行い、お酒や食事を楽しんでもらうことができた。

雨でイベント内容も省略することになり、さらにイベント自体も早めの切り上げとなってしまったが、仁淀川流域から集まっていた20店舗の出店者からの売上報告は昨年を上回っており、多くのお客様に仁淀川流域の食や文化、鮎を使った料理などを楽しんでもらうことができた。イベントの来場者数は約1,200名。

